

平成17年度各種表彰等の受賞者について

	賞の名称	受賞者の所属・職・氏名	受賞理由	授与者	授与年月日
1	日本航空宇宙学会論文賞	機械システム工学専攻 助教授 遠藤 琢磨	本論文はパネルデトネーションエンジンの性能を定式化したものであり、多くの研究者によってその有用性が認められている。この業績は、独創性が極めて高く、航空宇宙工学に対して顕著な貢献をしたものと認められたため。	(社)日本航空宇宙学会会長	平成17年4月6日
2	システム制御情報学会学会賞論文賞	複雑システム工学専攻 教授 西崎 一郎	環境保全コストの資金調達法として、私的インセンティブ効果のある慈善くじを取り上げ、その有効性をエージェントベースのシミュレーションによって明らかにしたこと、またシステム工学と経済学との学術的な発展に貢献したものと評価されたため。	システム制御情報学会会長	平成17年5月18日
3	2005年度日本膜学会研究奨励賞	物質化学システム専攻 助手 吉岡 朋久	超微細孔を有する無機膜における気体透過特性に関する研究において、実在系実験と分子シミュレーションを用いて得られた成果が学術的・工学的に優れていると評価され、今後の更なる研鑽が奨励されたため。	日本膜学会会長	平成17年5月20日
4	APT Distinguished Paper Award	物質化学システム専攻 教授 奥山 喜久夫	粉体工学会の英文誌「Advanced Powder Technology」に掲載された論文「Preparation of Microencapsulated Powders by an Aerosol Spray Method and their Optical Properties」Vol.14, No.3, 349-367 (2003)が最優秀論文に選ばれた。この論文では、ナノ粒子ゾルの噴霧乾燥法による複合化粉体の製造、複合化粉体の光学特性が明らかにされた。	粉体工学会会長	平成17年5月25日
5	米国圧力容器研究委員会賞	機械システム工学専攻 教授 澤 俊行	米国圧力容器研究委員会の中のボルトフラン締結体委員会のメンバーとして、ボルトフランとガンケットの設計に対する試験データの提供およびアメリカ機械学会のボイラー圧力容器企画の新設計基準の進展に対する優れた努力と学問的貢献に対して表彰されたため。	米国圧力容器研究委員会 バイスチェアマン エグゼクティブ委員会委員長	平成17年5月25日
6	日本医科器械学会平成16年度論文賞	複雑システム工学専攻 教授 辻 敏夫	『医科器械学第74巻第5号』に掲載された論文「EMG信号を利用した食事マニピレータの制御」が特に優秀であり、医科器械学の分野の発展に寄与するものとして評価されたため。	日本医科器械学会理事長	平成17年5月25日
7	日本塑性加工学会最優秀賞会田技術賞	機械システム工学専攻 吉田 総仁	「材料の塑性挙動モデルのモデリングと加工/構造解析への応用」の研究が塑性工学と塑性加工技術の発展に大きく寄与したことが認められたため。	(社)日本塑性加工学会会長	平成17年5月26日

平成17年度各種表彰等の受賞者について

	賞の名称	受賞者の所属・職・氏名	受賞理由	授与者	授与年月日
8	日本設計工学論文賞	機械システム工学専攻 助手 関口 泰久 教授 中川 紀壽	日本設計工学会誌の論文「転がり軸受信動のカオス解析と異常診断」が平成16年度日本設計工学会論文賞に値すると認められたため。	(社)日本設計工学会会長	平成17年5月27日
9	IEEE RES Working Group Recognition Award for Outstanding Technical Report	複雑システム工学専攻 教授 餘利野 直人	技術報告書『Voltage Stability Assessment: Concept, Practices and Tools』の優秀性が認められ執筆メンバーが受賞した。	IEEE Power Engineering Society	平成17年6月2日
10	(社)日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門 ROBOMECH表彰	複雑システム工学専攻 教授 金子 真 助教授 石井 抱 助手 東森 充	2004年6月名古屋において開催された、日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会2004において発表した高速4本指ハンドシステムの開発に関する研究発表が、新規性とロボット工学部門の発展に寄与するものとして評価されたため。	(社)日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス 部門部門長	平成17年6月10日
11	IEEE ICIA 2005, Best Conference Paper Award	複雑システム工学専攻 教授 金子 真 他	2005年6月28日～30日 香港で開催されたIEEE International Conference on Information Acquisition(ICIA)において発表した論文「Non-contact Stiffness Imager for Medical Application」が10件のノミネーション論文中、最高の評価を受けた。特に非接触方式の硬さ計測方法を実際の生体に応用した点が高く評価された。	IEEE ICIA 2005 実行委員長 プログラム委員長	平成17年6月29日
12	3次元画像コンファレンス2004 実行委員会優秀論文賞	複雑システム工学専攻 助教授 石井 抱	2004年6月東京で開催された「3次元画像コンファレンス2004」において発表した「高速ビジョンに基づく3次元トラッキングシステム」に関する研究発表が、新規性と高速3次元画像処理技術の発展に多大の貢献をしたとして評価されたため。	3次元画像コンファレンス 2004実行委員会委員長	平成17年7月7日

平成17年度各種表彰等の受賞者について

	賞の名称	受賞者の所属・職・氏名	受賞理由	授与者	授与年月日
13	World Glaucoma Congress 最優秀ポスター賞(トップテン)	複雑システム工学専攻 教授 金子 真 医歯薬学総合研究科 教授 三嶋 弘 大学病院 講師 塚本 英則 医員 杉本 栄一郎 医員 竹中 丈二	2005年7月6日～9日、オーストリア・ウィーンで開催された“World Glaucoma Congress”のポスター展示で参加339題中、広島大学視覚病態学(眼科学)・工業研究科の共同研究が最優秀ポスター賞(トップテン)の表彰を受けた。これは2005年度「21世紀COEプログラム」超速ハイパーヒューマン技術が開く新世界”の眼科臨床応用したものである。エアを角膜に噴きつけ、これに1秒間に5000コマの画像解析を行ったものである。角膜、眼球のダイアミクを世界最初に観察した優れた技術が高く評価されたものである。この技術により今後の臨床応用・疾患の病態解明への道が開ける優れた研究が高く評価されたため。	The Association of International Glaucoma Society	平成17年7月8日
14	(社)日本コンクリート工学協会 創立40周年記念 功労賞	社会環境システム専攻 教授 菅野 俊介	これまで長年に亘り、社団法人日本コンクリート工学協会の諸事情(学術研究委員、学術出版、海外活動等)ならびにコンクリート工学の発展に多大なる貢献をしたことよることが認められたため。	(社)日本コンクリート工学協会会長	平成17年7月12日
15	(社)日本コンクリート工学協会 創立40周年記念 功労賞	社会環境システム専攻 教授 佐藤 良一	コンクリートに関わる学術・技術の進歩発展ならびに専門技術者の資質向上など過去の業績等が今回の功労賞受賞に値すると認められたため。	(社)日本コンクリート工学協会会長	平成17年7月12日
16	平成17年度照明学会 論文賞	機械システム工学専攻 教授 澤 俊行	『照明学会誌第88巻第11号』に掲載された論文「複数の負荷作用が超高压水銀放電封止部の破壊に及ぼす影響」が研究成果として誠に優れていると評価され、照明学会が関与する学術・技術の進歩・発展に貢献すると共に、今後の研究を先導するものとしてその業績が高く評価されたため。	(社)照明学会会長	平成17年7月14日
17	アメリカ機械学会圧力容器配管 部門会議賞	機械システム工学専攻 教授 澤 俊行	2004年アメリカ機械学会圧力容器および配管会議における顕著な技術セッション「ボルト締結体の解析」を開催し、質の高い内容の論文を集め、自ら発表したことが今後のこの分野の発展に貢献すると高く評価されたため。	エグゼクティブ委員会委員長 表彰委員会委員長	平成17年7月14日

平成17年度各種表彰等の受賞者について

	賞の名称	受賞者の所属・職・氏名	受賞理由	授与者	授与年月日
18	計測自動制御学会フェロー	複雑システム工学専攻 教授 雛元 孝夫	2次元デジタルフィルタ, 状態推定フィードバック制御器の合成, システム同定などの研究において、国内外で高い評価を受け、信号処理およびシステム制御分野において、学術的に極めて顕著な功績をあげたことによるため。	(社)計測自動制御学会会長	平成17年8月9日
19	計測自動制御学会研究奨励賞	大学院工学研究科 特任教員 栗田 雄一	2005年9月5日～7日法政大学市ヶ谷キャンパスで開催された第20回生体・生理工学シンポジウムにおいて発表した研究「光速度カメラを用いた人眼剛性計測」が、研究奨励賞を受賞するに値する、優れた研究であると認められたため。	(社)計測自動制御学会システム生産部門 生体・生理工学部主査	平成17年9月6日
20	日本知能情報ファジィ学会奨励賞	複雑システム工学専攻 助教授 片桐 英樹	第20回ファジィシステムシンポジウムにて発表したファジィランダム多目的線型計画モデルに関する論文が、知能・情報・ファジィ分野での理論・応用において小壮研究者の模範となる優れた研究であると認められたため。	日本知能情報ファジィ学会会長	平成17年9月8日
21	ISS活動功労賞	情報工学専攻 教授 中野 浩嗣	電子情報通信学会ISS(情報システムソサイエティ)英文論文誌編集幹事としての貢献が評価されたため。	(社)電子情報通信学会情報システムソサイエティ会長	平成17年9月9日
22	電子情報通信学会基礎・境界ソサイエティ功労賞	情報工学専攻 教授 土肥 正	電子情報通信学会 和文論文誌A分冊編集委員として、基礎・境界ソサイエティに多大なる貢献を行ったため。/参考(平成17年度受賞内訳:ソサイエティ功労賞5名, ソサイエティ功労感謝状10名)	(社)電子情報通信学会基礎・境界ソサイエティ会長	平成17年9月21日
23	生体医工学シンポジウムベストリサーチアワード	複雑システム工学専攻 助教授 柴 建次 教授 辻 敏夫 他	発表論文「人工心臓用空心型経皮エネルギー伝送システム-体外情報による出力電圧の安定化制御-」が生体医工領域の発展に貢献する優秀な論文として認められたため。	(社)日本生体医工学学会生体医工学シンポジウム組織委員長	平成17年9月27日

平成17年度各種表彰等の受賞者について

	賞の名称	受賞者の所属・職・氏名	受賞理由	授与者	授与年月日
24	日本金属学会学術貢献賞	機械システム工学専攻 教授 中佐 啓治郎	各地域において、金属学または金属工業に関する学術または技術の進歩発達について顕著な功労を認められたため。	(社)日本金属学会会長	平成17年9月28日
25	Outstanding Service Award	情報工学専攻 教授 中野 浩嗣	PDCAT05のProgram chair(プログラム委員長)としての多大な貢献が評価されたため。	PDCAT'05 General Chair	平成17年11月7日
26	第4回 軽金属躍進賞	機械システム工学専攻 助教授 佐々木 元	軽金属の学術技術に関する研究開発に携わり独創的発展性に富んだ顕著な業績をあげ将来の活躍が期待されるため。	(社)日本軽金属学会会長	平成17年11月12日
27	第41回環境工学研究フォーラム奨励賞	社会環境システム専攻 助手 金田一 智規	第41回環境工学研究フォーラムで発表した論文「Real-Time PCRを用いた生物膜内における硝化細菌ポピュレーションダイナミクス」が評価されたため。	(社)土木学会 環境工学委員会委員長	平成17年12月1日
28	第42回環境工学研究フォーラム優秀ポスター発表賞	社会環境システム専攻 助手 金田一 智規 助教授 尾崎 則篤	第42回環境工学研究フォーラムでのポスター発表「ANAMMOX反応を利用した生物膜リアクター構築と生物膜群集構造解析」が評価されたため。	(社)土木学会 環境工学委員会委員長	平成17年12月3日
29	第3回ゲーム作品コンペティション アカデミック部門最優秀賞	情報工学専攻 教授 平嶋 宗	第3回ゲーム学会作品コンペティションアカデミック部門に応募した学習ゲームが最優秀なものとして認められたため。	ゲーム学会会長	平成17年12月10日

平成17年度各種表彰等の受賞者について

	賞の名称	受賞者の所属・職・氏名	受賞理由	授与者	授与年月日
30	国際会議 International Conference on Reliability and Safety Engineering(INCRESE 2005)最優秀論文賞	情報工学専攻 助教授 岡村 寛之 教授 土肥 正	2005年12月21～23日にブバネシュワル(インド国)において開催された国際会議 International Conference on Reliability and Safety Engineering(INCRESE 2005)で、79採択論文(採択率39.5%)中3本の優秀論文に選択され、さらにその中で最高得点を得た最優秀論文賞として表彰された。論文内容は「A subordinated Markov chain model for assessing software safety」(H.Okamura,M.Ito and T.Dohi)であり、ソフトウェア信頼性理論において初めてsubordinated Markov chain モデルを提案したものである。ソフトウェアフォールトの影響度を考慮した信頼性・安全性評価を行うために、非定常ポアソン過程と離散時間マルコフ連鎖を組合わせた確率モデルを提案し、その有効性を実データに基づいて検証した点が高く評価されたため。	国際会議 INCRESE 2005 実行委員会	平成17年12月23日
31	第60回年次学術講演会優秀講演者表彰	社会環境システム専攻 助手 金田一 智規	土木学会平成17年度全国大会において発表した「生物膜リアクターによるANANNOX細菌の集積培養と群集構造の解析」が評価されたため。	土木学会全国大会委員会 委員長	平成17年12月26日
32	IEEE Fellow Award	複雑システム工学専攻 教授 金子 真	ロボットハンドに関する設計、センシング、操り計画に関するこれまでの卓越した研究業績が認められ、IEEE(Institute of electrical and Electronics Engineers)の会員数の0.1%の研究者に選ばれたため。	IEEE President	平成18年1月1日
33	有機合成化学協会 研究企画賞	物質化学システム専攻 助手 吉田 拓人	研究企画「アラインを用いた多成分連結反応による方向族縮合複素環の新規構築法の開発」が今後の有機合成化学の発展に大きく貢献すると評価されたため。	有機合成化学協会会長	平成18年2月23日
34	第11回ロボティクスシンポジウム最優秀論文賞	複雑システム工学専攻 助手 東森 充 助教授 石井 抱 教授 金子 真 他	2006年3月佐賀において開催された第11回ロボティクスシンポジウムにおいて発表した摩擦未知環境下での二次元棒状物体の動的捕獲アルゴリズムが、新たなロボティクス研究の方向性を示唆し、今後の本分野での発展に寄与する最も優秀な論文として認められたため。	第11回ロボティクスシンポジウム 実行委員長、プログラム 委員長	平成18年3月16日
35	日本金属学会 研究技術功労賞	技術センター(工学部等部門) 技術長 向井 一夫	長年に亘って、研究・教育用の試験装置・実験機器及び各種テストピース等の金属加工・設計・製作に従事し、工学研究科の機械系・建設系・化学系等広範囲の分野において「ものづくり」教育に多大な貢献をしたため。	(社)日本金属学会会長	平成18年3月21日